



## 新年のご挨拶

システナ健康保険組合  
理事長 国分 靖哲

あけましておめでとようございます。

被保険者ならびにご家族のみなさまにおかれましては、穏やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、当健康保険組合の事業運営に対し、平素より多大なるご理解とご協力を賜りまして、心より御礼申し上げます。

本年も引き続きまして、よろしくお願い申し上げます。

さて、健康保険組合を取り巻く環境は、高齢化や高額薬剤の登場などによる医療費の増加を背景に厳しい状況が続いています。全国の多くの健保組合で保険料率の引き上げを実施せざるを得ず、現役世代の負担は膨らみ続けています。

2022年以降は、いわゆる団塊の世代が次々と75歳に到達して後期高齢者へ移行することから、健保組合が国に対して拠出する後期高齢者支援金が急増し、さらなる保険料負担の上昇が危惧されています。

政府は本年6月を目途に、医療保険制度などの給付と負担の見直しを含む改革に向けた重点政策を「骨太方針2020」として取りまとめますが、健康保険組合連合会では、「高齢者医療費の負担構

造改革」「保険給付の適正化」「保健事業の取り組みを通じて健康な高齢者を増やす」の3点の実現を、喫緊の課題として求めています。

一方、少子高齢化により社会保障の支え手が減少するなか、健保組合には、健康寿命の延伸と医療費の増加抑制を担う役割が一層求められています。当健保組合といたしましても、コラボヘルスを推進し、データ分析に基づいた効果的かつ効率的な保健事業を実施して、みなさまの健康増進をサポートしてまいります。

オリンピックの年、スポーツへの関心も高まります。みなさまにおかれましては、日々の生活に運動習慣を取り入れ、健康にご留意いただき、とともに、健康診断を受けていただき、健康管理の指標としてお役立てください。また、健診の結果において保健指導の対象となられた方には保健指導を必ずお受けいただくようお願いいたします。

最後になりますが、本年がみなさまにとって実り多き一年となりますことをご祈念申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。

